

柏南ロータリークラブ 会報

2025-2026 片岡達生年度



よいことのために
手を取り合おう



第4代会長 片岡 達生
幹事 井畑 和士 齊藤 洋子

第2022回 2025年9月2日 (火)

会長挨拶

皆さま、こんにちは。本日も例会にご出席いただきありがとうございます。まずは、先日のガバナー公式訪問に際し、ご協力いただいた会員の皆さまへの感謝を申し上げます。

公式訪問終了後には、幹事とともに入会希望者の倉持誠さんと面談を行い、しっかりとしたお人柄を確認するとともに、私からもクラブのことを、例会の出席を含めてしっかりお話ししました。倉持さんにはご家族で納涼例会に参加いただき、さらにガバナー公式訪問でも最後のディスカッションまで出席され、会員の率直な意見に触れてロータリー理解を深められたようです。新入会員候補者紹介のFAXが回りますので、どうぞ温かく迎えていただければと思います。



ディスカッションでのご意見に共通していたのは「会員増強は一日してならず」ということです。目先の数にとらわれず、候補者選定や新入会員への丁寧な対応、良い活動を通じた会員満足度の向上こそが長期的な力になると感じました。

次回は夜間例会で、櫻井好美会員の卓話が予定されています。近年のご活躍や対話的な要素を取り入れた内容が期待されます。お楽しみに。

本日の卓話は、グローバル補助金奨学生・田辺和さんのお父さま、田辺修さまです。ザンビアでの協力隊経験やODA業務を通じた歩みをもとに「国際協力事業の紹介と雑感」と題してお話しいただきます。

また、「はぐくみの杜かしわ」から納涼祭への御礼状と子どもたちの寄せ書きが届きました。「浴衣で大はしゃぎ」「夏らしい体験ができた」など多くの喜びの声が寄せられています。地区補助金も入金されましたので、会長としてこれから同施設の支援をしっかりと進めてまいります。

卓話 田辺 修様



千葉県社会保険労務士会
田辺 修 様

JICA技術協力の一部
JICA海外協力隊

開発途上国の
経済・社会の発展、
復興への寄与

異文化社会
における
相互理解の
深化と共生

ボランティア経験の
社会還元



本資料は、田辺の国際協力分野での経験をもとに、政府開発援助（ODA）の概要、実施機関、支援方法、そして実際に関わった国々の事例を紹介しています。

ODAは日本政府が途上国の発展を支援するための国際協力活動であり、技術協力・資金協力・国際機関への拠出など多様な形態があります。わが国では、外務省やJICAなどの機関が中心となり、専門家派遣や資機材調達などを通じて支援が行われています。

田辺は青年海外協力隊員としてザンビアで2年間中高等学校の理数科の教員を務めた後、日本国際協力システム（JICS）に入団し、長年にわたり国際協力に従事しています。資料ではザンビア、モルドバ、キューバの3国を例に挙げ、それぞれの地理・歴史・産業・課題などを紹介。特にザンビアでは博物館への支援、モルドバでは農業分野の円借款、キューバでは過去の援助機材に対するフォローアップ支援について紹介しています。

最後に、田辺が現在取り組む社会保険労務士としての活動にも触れ、働く人々の支援と制度の重要性を述べています。

船でお米を送る前の
検査

分量、種類はあって
るかな？異物は混
じていないかな？



例会ハイライト

米山奨学生 金 徳財さん

東京大学大学院への合格
報告と抱負をお話いただき
ました



グローバル補助金奨学生
田辺 和さん

9/25の渡英に向けて、
当クラブのバナーを授与し
ました



お食事・ニコニコ



ワンコインニコニコ
9月2日 2,135円
累計 19,460円

幹事報告

●9月ローターレート 147円

今後の予定

9月 9日（火）祝日休会
9月16日（火）夜間例会・卓話 19時点鐘
9月30日（火）移動例会
17時より 葛飾区立双葉中学校見学